

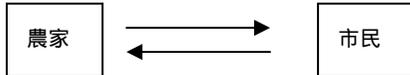
■ “水田トラスト” “大豆畑トラスト”

■トラストとは？

トラストとは「信託」のことです。これは価値ある美しい自然や文化財を市民が買い取ってしまうことで、それが利益のままに失われるのを防ぐ運動です。市民が、無農薬・無化学肥料による水田・畑を育て、守り、豊かな自然を次の世代につなげていくのが水田トラスト・大豆畑トラスト運動です。環境破壊につながる農薬・化学肥料・遺伝子組み換えに依存する農業に強く反対し、環境保全型農業を支援していくことを、社会にアピールしています。

■水田トラスト、大豆畑トラストの仕組み

< その土地で取れた収穫物 >



< 一定の土地を買い取る。 >

トラストでは、出来た農産物とお金を交換するのではなく、消費者はまず、一定面積の土地に応じたお金を農家さんに委託し、その面積から収穫された農産物を農家さんから受け取ります。そのため、収穫量が少ない年は、配当量も少なくなります。環境保全型農業を農家と消費者で一緒に守っていきます。

■ 誰でも参加できる “ぶっちトラスト”

「ぶっちトラスト」は、青年も気軽にトラストに参加できる仕組みです。食農チームが代表して水田、大豆畑トラストに申し込み、それを小口にしてみなさんにお配りします。年によって配当量・金額は変動しますが、2004年度は一口 1,050円でお米：775g 醤油：180mlでした。

■ 食農チームの今後の活動 ■

■ A SEED JAPAN 食農チームは、食農チームは私達の生活に身近な『食べる事』とそれを支える『農業』の在り方を模索することで、地に足をつけた活動をしながら、自分達の社会の未来を考えていきます。

■今後の活動は

- ・ 新庄 田の草取りツアーの計画
- ・ 在来種のたね保存・生物多様性に関する活動を予定しています。

有機農業の現場を知りたい！

世界の食糧問題、食の安全、遺伝子組換え作物、食料主権などに興味があるというかたはぜひいっしょに活動しましょう。

■ミーティング情報

3月2日(水) 12:00 ~ 14:00
@A SEED JAPAN 事務所

■オリエンテーション情報

2月16日(水) 19:00 ~ 21:00
3月23日(水) 19:00 ~ 21:00

■ 問合せ先

食農チーム・事務局 (担当：鈴木)
E-mail : Suzuki@aseed.org
HP : <http://www.aseed.org/agriculture/>



Go Slow !

LIVE HOUSE でも
スローフード食べたいよね！！

~ 日々、私達が口にする食べ物が私達の元に運ばれてくるまでには長い物語がある。さあ、It's a Show Time!! ~

■ 今回のこだわり食材 ■

A SEED JAPAN 食農チームが厳選して選んだ素性の知れた食材です。安心して食べてもらいたいだけでなく、国内・海外の農林業が持続的に行われるように支援していこう！というメッセージが込められています。

■ 幻の米 “ さわのはな ”

非遺伝子組み換え、無農薬無化学肥料栽培

■ From 山形県新庄市「ネットワーク農縁」

<http://www004.upp.so-net.ne.jp/net-nouen/>

「さわのはな」という品種のお米を知っていますか？お米といえば、コシヒカリ・あきたこまちなどが有名ですが、それらのお米は、一株からできるだけ多くの米粒が穫れるように品種改良されてきたものです。もちろん、それだけ肥料を必要とし、病気や虫を防いだり、見た目を良くするために農薬散布をします。



“さわのはな” 農家
高橋保廣さん

「さわのはな」は、病気や冷害に強く、山形の土地、気候、風土に適した在来種のイネです。多収穫をねらって肥料を入れすぎると、自ら倒れてしまう変わったイネで、肥料や農薬に頼らずに作れる環境保全型農業に適したお米です。現在では、多収穫こそがよい米づくりという風潮があるため、「さわのはな」を作る農家さんが減り、幻の米となってしまいました。しかし、自分たちの土地にあったイネを大事にしたいという思いから、少数の農家さんが自家消費に残してきたものを今、新庄の百姓が復活させようとしています。

食農チームでは、1999年から水田トラスト運動に参加しています。また、農業体験（無農薬の米づくりで一番大変な草取り）をすることによって、「さわのはな」を育てる農家さんの思いを知り、環境保全型農業を積極的に支援しています。

■ 非遺伝子組み換え・無農薬・無化学肥料 手作りの “有機大豆” と “トラスト醤油” “トラスト味噌”

■ From 山形県新庄市「ネットワーク農縁」

かつて、大豆は日本中で生産されていました。しかし、資本経済の浸透、国際的な自由貿易化の影響で大豆は換金されにくい作物として、作付けが減少していき、一時は、国内自給率が3%程度に落ち込むほど厳しい状況になりました。大豆は、豆腐・醤油・味噌など毎日食べるものなのに、国内で作らずに海外からの輸入に頼っているのでしょうか。輸入に依存した結果、遺伝子組み換え大豆の問題が浮上しています。



遺伝子組み換え作物を推進する多国籍企業は、知的所有権の特許化し、それを利益のために世界中に広めようとしています。途上国では、現在行われている伝統的な農業が破壊されようとしています。

食農チームは、大豆畑トラスト運動に参加しています。これを通じて、農家さんが遺伝子組み換え大豆に依存することなく、環境保全型農業での有機大豆生産を持続的に進めるように支援しています。

「トラスト」についての詳細は別ページをご覧ください。

■ 無農薬・無化学肥料 個性豊かな品種 林 重孝さんの野菜たち

林さんはスーパーで売られている品種とは違ったユニークで野菜本来の味をもつ在来種の野菜を無農薬・無化学肥料で栽培しています。今回皆さんに召し上がっていただく野菜は...

大根「あきづまり」...普通の大根より甘いのが特徴！
生で食べるとおいしさを実感できます。

にんじん「黒田」...九州地方の地名「黒田」で栽培されてきたにんじんです。地名がそのまま野菜の名前になっています。まさに地域に根ざした在来種

キウイフルーツ...貴重な無農薬・無化学肥料で栽培されたキウイです。「ハイワード」という甘さと酸味のバランスが抜群です。

野菜たちの持つ種からのメッセージを
感じてください！！

2004年度の農作物の状況！

<さわのはな>

新庄の作況指数は、いつもの年を100とすれば87とかなりひどい数字だった。その中で、さわのはなは、いつもの年を若干上回る結果となった。「有機栽培の稲の力に乾杯！！」 by 山形県 新庄 佐藤恵一
<有機大豆>

新庄の大豆は凶作でした。季節はずれの台風、つづく長雨、8月の猛暑が原因です。「来年こそは！」という思いです。by 山形県 新庄 今田多一

<にんじん>

今年は雨が多く、その影響で、多くの人参が根腐れを起こしてしまいました。その分、生き残った野菜たちは生命力抜群です！ by 千葉県 佐倉市 林 重孝